

令和元年度

第3回理事会（定時）議事録

一般財団法人東京学校支援機構

令和元年度第3回理事会（定時）議事録

- 1 開催日時 令和2年2月3日（月曜日） 午後3時00分から午後4時30分まで
- 2 場 所 一般財団法人 東京学校支援機構
東京都新宿区西新宿8-1-2 PMO 西新宿7階 会議室
- 3 理事の現在数 9名
- 4 出席理事の数及び氏名 9名 坂東 眞理子
川名 洋次
金澤 利明
小林 治彦
小林 洋子
酒井 泰
谷 理恵子
藁田 薫
村上 徹也
- 5 出席監事の数及び氏名 2名 大竹 栄
小原 昌
- 6 その他の出席者の数及び氏名 1名 津村 政男（顧問弁護士）
- 7 議 長 坂東 眞理子
- 8 議事録署名人 坂東 眞理子
大竹 栄
小原 昌
- 9 議決事項
議案第1号 令和2年度事業計画書の承認の件
議案第2号 令和2年度収支予算書の承認の件

10 議事の経過及び結果

(1) 開会

冒頭、議事に入るまでの間、総務部長が進行役を務め、理事の出席状況を報告し、理事が定足数を満たしており、定款第20条に基づき理事会が有効に成立していることを確認した。また、一般財団法人東京学校支援機構理事会規程第6条第1項に基づき、理事長が議長を務める旨を説明した。

これを受け、坂東理事長が、定款第42条第2項に基づき理事長と監事が議事録署名人を務めることを確認し、議事を開始した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

ア 第1号議案 令和2年度事業計画書の承認の件

(ア) 議案説明

議長は、事務局に対し、第1号議案について説明を求め、総務課長が、令和2年度事業計画書について説明を行った。

(イ) 質 疑

事務局による説明の終了後、議長から質疑を促したところ、理事から以下の発言があった。

(質 問)

現場としては、部活動指導員をはじめとした方のサービス・旅費管理など副校長の事務を補佐してくれる方が欲しいが、そうした人材はバンクにいるのか。

(回 答)

システムで登録する際の活用できる能力等の欄に事務支援の区分があり、登録・該当者がいれば紹介可能である。

(質 問)

区市町村立小・中学校のTEPROへの認知度はまだ低い状況。市区町村によって活用方法にも温度差があるので、活用してもらうためにもPRを積極的にしていかなければいけないと考える。

(回 答)

まずは成功事例を積み上げていくということが重要であると認識している。企業や国や団体のキーパーソンを中心に当たっていくことを中心に活動を広げていく。

(質 問)

登録に当たって年齢制限はあるか。また、ICTの支援は、2つ意味があり人的なテクニカルサポートの場合とICTの導入に際しての企画提案があるが、そのいずれか。

(回 答)

年齢制限は下限・上限ともない。ICTについては、前者の支援を想定している。

(ウ) 議 決

議長が本議案について決議を求めたところ、「異議なし」の声があり、第1号議案は出席理事の全会一致をもって原案どおり可決された。

イ 第2号議案 令和2年度収支予算書の承認の件

(ア) 議案説明

議長は、事務局に対し、第2号議案について説明を求め、総務課長が令和2年度収支予算書について説明を行った。

(イ) 質 疑

事務局による説明の終了後、議長から質疑を促したところ、理事から主に以下の発言があった。

(質 問)

周知PRは重要で、TEPRO Support Bank 事業の広告宣伝費を計上しているが、どのような取組を行うのか。

(回 答)

今年度に行った地下鉄等でのPRや、チラシ・パンフレットによる大学等へのPRを今年度並みに確保している。また、登録者が継続的に取り組めるインセンティブとしてバッチを作成し、活動者に渡していくような取組を行う予定である。さらに、都教育庁と連携しながら小中学校へのPRを続けていく。

(意 見)

広告宣伝に関し、こうした手法だけでなく、世論に訴えかけるような活動、例えばセミナーやシンポジウムを開催するような活動を考えていかなければいけないと考える。

(質 問)

例えば、SNSでの広告や、PRをしてくれる人への謝金は含まれているのか。

(回 答)

SNSの活用は検討しているが、そうしたPR者への謝金に関しては計上していない。

(意 見)

企業のCSR担当者が集うミーティング等もあるので、そうした所にご案内を出す等が重要である。

(質 問)

これまで東京都教育委員会で作った繋がり・ノウハウを活かし、TEPROの活動の輪を広げていくようなことは考えているか。

(回 答)

段階を踏んでであるが、引き続き都教育委員会と連携しながら進めていく。

(質 問)

TEPRO Support Bank 事業では、人が増えるにつれて物理的にコーディネーターが難しくなると思われるが、そうした痒い所に手が届くようなセットアップするような、学校のニーズを吸い上げるつなぎ役となる人の予算はどこに当たるか。

(回 答)

そうした役割は、キャリアコンサルタント等の資格を持つ職員や民間企業等管理職経験者の職員である人材支援課のコーディネーター職の職員が当たる予定である。

(質 問)

バンク登録者の保険状況についてはどうか。

(回 答)

「無償ボランティア」については、これまでどおり（機構負担での）保険を用意しているが、新たな区分である「有償ボランティア」については任意の保険を用意している。

(質 問)

委託費の中に、工事店へ支払う経費のほか、機構内の人件費も含まれているという理解で良いか。

(回 答)

含まれている。

(ウ) 議 決

議長が本議案について決議を求めたところ、「異議なし」の声があり、第2号議案は出席理事の全会一致をもって原案どおり可決された。

1 1 報告事項

(1) 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告

定款第27条第4項に基づき、理事長及び常務理事それぞれの職務執行状況報告を行った。

(2) 第4回評議員会（定時）の議事内容について

令和2年2月17日に開催する評議員会において、一般財団法人東京学校支援機構資金運用規程に基づき、基本財産の運用に関する議案を提出することから、その概要について説明を行った。

(3) その他の報告事項

その他の報告事項として、当機構の管理運営及び広報に関する報告を行った。

1 2 その他

理事長から、その他機構の運営全般に関して意見・質問を求めたところ、特段の発言

はなかった。

13 閉会

以上をもって 議事が終了したため、議長が閉会を宣言し、令和元年度第3回理事会を終了した。

以上のとおり、理事会の決議事項等を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び監事がこれに記名押印する。

令和2年2月3日

議 長 坂東 真理子

監 事 大竹 栄

監 事 小原 昌